



日本共産党市会議員 かたやなぎ 進

片柳すすむ 市政報告

発行 日本共産党 川崎市議会議員団
川崎区宮本町1番地 第2市庁舎7階
TEL 200-3360 FAX 245-4140
その他の連絡先 TEL 246-6823

「富士見プールを再開してほしい」「教文の建替え施設にはダンスのできる部屋を」 市民の声を生かし、富士見プールと新市民館の整備を

今月号の内容

- ▼1面
 - ①富士見プールの再整備を
 - ②これでいいのか？東扇島埋立
 - ③教育委員会が音声データを消去
 - ④住民要望/「ハイトスピーチ許さない」
- ▼2面
 - ①市民の声/富士見児童プール再開を
 - ②文教委員会/ネットでのハイトスピーチ
 - ③共謀罪「オールかわさき」と超党派で
 - ④八丁駅駅前踏切の安全対策を
 - ⑤コラム/移動時間の楽しみは読書

夏はプール・冬はフットサルなど 富士見プールの再整備を

片柳市議は一般質問で富士見公園のプール再整備その他について取り上げました。

まず教育文化会館について、地域の方から「フラダンスなどの練習ができる会場がほしい」などの声もあり、市民の声を聞いた上で計画を立てるべきと主張しました。

富士見児童プールについて、「プールは再開されるのか」「このまま廃止されるのか」と心配する声を紹介。安い料金で安心して遊べるプールや公的なスポーツ施設を整備することは市の重要な役割であり、児童プールの再整備を求めました。



6月23日、片柳市議は川崎市議会第2回定例会（6月議会）で一般質問に立ち、①富士見プールや教育文化会館の整備のあり方、②八丁駅駅前踏切の安全対策、③「LGBT」など多様な性にかかわる施策の推進、④洪水ハザードマップの周知等について質しました。代表質問等とともにご報告いたします。

総務企画局長は「児童プールについて、計画では屋外施設として公園北側へ再編することになっていて」と答えました（テニスコート「12面」、相撲場、駐車場と公園北側に再整備予定）。

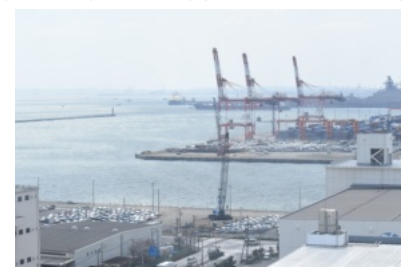


夏はプール(右)、秋冬春はフットサル(左)

市の負担200億円？ これでいいのか東扇島埋立

日本共産党は、代表質問で東扇島堀込部で計画されている埋立土地造成事業について取り上げました。市港湾局は、これまで約240億円の埋立費用について、大規模事業の建設発生土の受け入れ費用でまかなうので「一般財源に負担をかけない」と述べていました。しかし今回の質問に対しては、「本市の負担を『極力』かけない」と港湾局長答の答弁は後退。200億円近い市費負担が避けられないことが明らかになりました。

入所待ちが切実な特養ホームや認可保育園などは必要な規模で増やさないのに、この堀込部埋め立て、臨港道路東扇島水江町線、羽田連絡道路と合わせ1千億円ものムダな大型開発を続ける福田市政のあり方が問われています。



240億円の埋立が計画される東扇島堀込部

教育委員会が音声データ消去

日本共産党は代表質問で、教育委員会の「音声データ消去問題」をとりあげました。

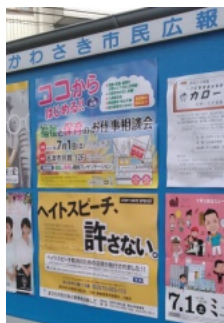


川崎市情報公開条例は「憲法を知る権利を保障するため、情報は原則公開すべき」としているのに、2014年8月の高校日本史教科書採択を議題とした会議の録音データの開示を求めた市民に対し、教育委員会は開示を拒否。市民の異議申立に対し「公文書にはあたらな」と判断したため14年10月に消去した」などと説明したのです。しかし、この問題で市民の起こした訴訟の過程で、録音データはその後教育委員会の共有ファイルサーバ内に存在していたことが明らかになりました。

「ハイトスピーチ許さない」のポスターが街中に

川崎市広報掲示板に「ハイトスピーチ、許さない」のポスターが貼り出されました。

去年の9月議会で「全市526基の掲示板に掲示を」と片柳市議が求めていたもの。他にも「川崎市HPや、ふれあいネットでの啓発」も具体化されました。





大島在住 Yさん

富士見公園見守りプールの再開を

利用料金の安さはもちろん、子どもが普段から遊んでいる公園内になることや、公営であることの安心感があり、よく利用してしまえば、子どもたちの夏休みの楽しみがなくなってしまう。子どもも大人も市民です。公園やプールを壊して直すという計画の会議に市民や子どもはいたので



しょうか。子どもは今や将来に関わることを市役所の大人だけで決めず「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づき、子どもも大人も含めて決めていただけることを願います。特に、富士見公園は、川崎区の中でも居場所として大きな役割があると感じます。

小さな赤ちゃんから、小・中高の学生・大人も、お年寄りも市民みんなが集える場所を市民も行政も一体となって考えるときではないでしょうか。子どもたちの居場所として、公園だけでなく、プレーパークの設

文教委委員会のインターネット上のヘイトスピーチ対策を

文教委委員会の

6月13日、文教委員会では『公の施設』利用許可に関するガイドライン」の報告がありました。昨年6月、川崎区内で繰り返したヘイトスピーチデモを行った人物が、区内の公園で集会の利用許可を申請したのに対し、市が「不許可」としたことなどを受けたもので、市が今後ヘイトスピーチに関し各施設の利用制限の判断をするときの基準となるのが、このガイドラインです。片柳市議は「来年3月末の施

行以前にヘイトデモがあった場合には、ガイドラインに準拠して対応し、不当な差別が行われないよう」求めました。また、人権施策推進協議会が「公の施設利用のガイドラインの策定」と並んで提言した「インターネット上の対策」について、「大阪市は動画サイトなどへの削除要請を行い、ひどい差別的な動画が削除されている。ヘイトスピーチ解消法や法務省の基準で判断できるのだから、インターネット上のヘイトスピーチ対策を急ぐべき」と質問。市民文化局長は「できるだけはやく対応したい」と答えました。

置の検討もしていただけないでしょうか。津田山の夢パークとまではいかなくとも、子どもたちが自ら遊びを創造できる場を、各区の子どもたちに与えてほしいです。

共謀罪「慎重審議」の意見書案 否決—今後とも市民とともに

国会で「共謀罪法」が強行可決されました。世論調査では「よくわからない」「この国会で決めるべきではない」と答えた方が大半を占める中で、参院法務委員会では採決は行わず、直接本会議での強行採決が行われました。川崎市3月議会では『いわゆる共謀罪法案に関し慎重な対応を求め意見書』案を、日本共産党と

民進みらいが共同提案しました。「国民が抱く不安が払拭されない中で、共謀罪法案の取扱いには慎重を期した対応をされるよう強く要望する」という内容です。無所属の2人も含め計24人の議員が賛成しましたが、自民党・公明党・4人の無所属議員が反対し、意見書案は否決されました。

今後も今回、声を挙げた幅広い市民の皆さんと力をあわせて議会内外で声をあげてまいります。

エレベーター設置・歩道拡幅 八丁畷駅の安全対策を

片柳市議は一般質問に立ち、4月15日の八丁畷駅前踏切の事故後「高齢者や障がい者、子どもなど



八丁畷駅前踏切は通学の小学生であふれそうなほど

が踏切内で転んだら心配」との声を紹介。「特急や快速特急の場合、踏切警報機が鳴ってから40秒程度で列車が高速で踏切を通過することから、歩行に不安を感じる方がわざわざ踏切を渡らなくても電車を利用できるよう、現在建設中の八丁畷駅東口に加え、西口へのエレベーター設置を京急とJRに働きかけるよう求めました。

また、踏切前の歩道に通学児童があふれている状況があり、安全対策として歩道の拡幅を行うこと、朝の時間帯だけでも、踏切の安全通行を監視する人員の配置を警察などの関係機関に働きかけることを求めました。

建設緑政局長は「歩行者の安全対策について検討を進めたい」と、さらに教育次長も「教育委員会、道路管理者及び警察などで構成する『通学路安全対策会議』で対策を検討する」と述べました。

移動時間の楽しみは読書

元々本を読むのが好きで、議員になる前は移動の電車をよく読んでいました。今は自転車でも移動ばかりで本を読む機会が減ってしまい、もっぱら県外視察のときに「読むぞー」と気合を入れて本屋に行ったりしています。最近は井上ひさしさん。私も言葉で商売する者の端くれです



No. 25 片柳 すすむ

日進月歩

から『私家版日本語文法』『言語小説集』をうなったり笑ったりして読みました。もう一人は宮城谷昌光さん。『三国志』の井上ひさしさんとの対談はもちろん、元プロ野球投手の江夏豊氏、歌手・俳優の吉川晃司氏との対談の予想外の面白さ。日本と中国の歴史を知り尽くした目から見ると民族差別やヘイトスピーチなど問題外。

本の世界に耽りたくありませんが、そうもいきませぬ。電車移動を楽しみにしています。

